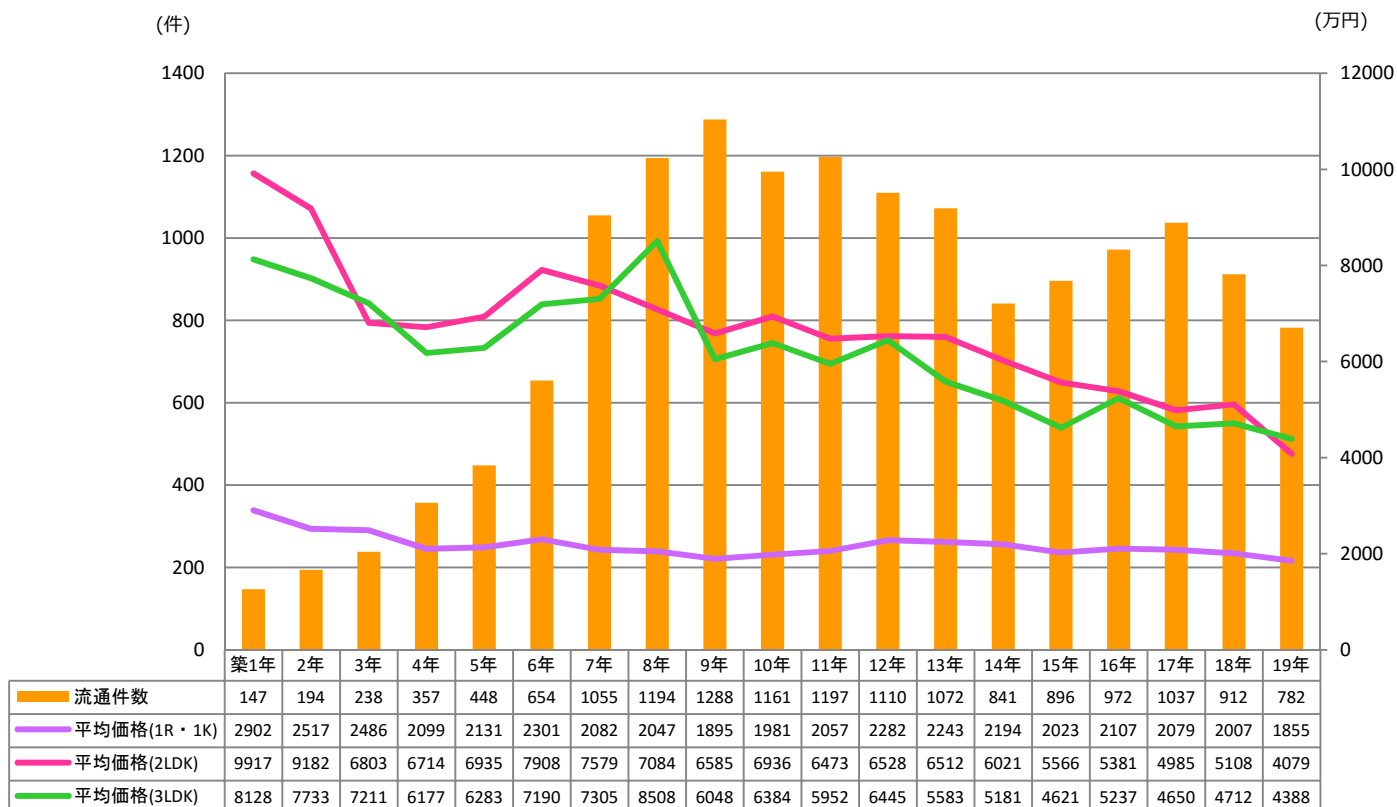


# 2016年首都圏中古マンション 流通動向

## 東京23区



2016年に流通した首都圏の中古マンションについて、築年別の流通量と間取別の平均価格をグラフで表しました。対象は1都3県の主要エリアです。

東京23区は、築7年から流通量が大幅に増加し、築13年までがボリュームゾーンとなりました。間取別の価格を見ると、2LDK、3LDKは築年数の経過と共に下落傾向が見られ、流通量の多い築13年と、データ内で最も古い築19年を比べると、1500～2000万の差がでています。1R・1Kは、築4年以降概ね同水準での推移で、築年数の経過による下落傾向はほぼ見られませんでした。また、東京23区では2LDKの価格が平均して3LDKを上回る結果となりました。

次ページでは神奈川県、埼玉県、千葉県の記事を記載していますので、併せてご覧ください。

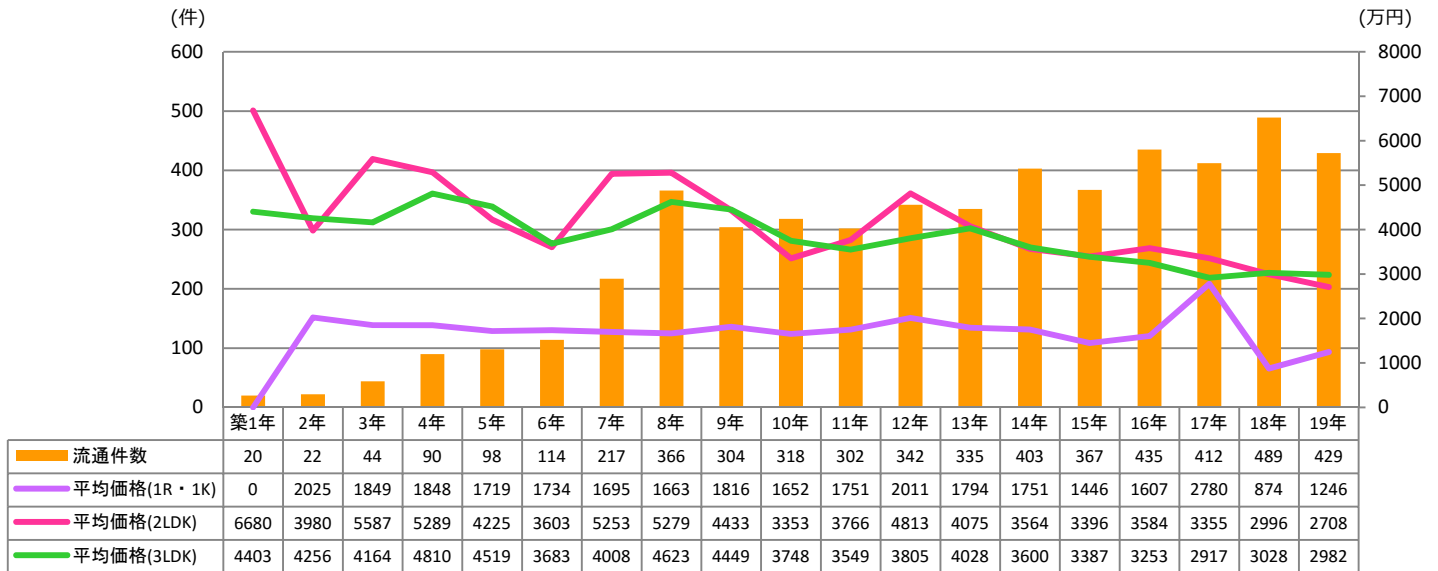
□データについて ※売買サマリ調べ

・年度：2016年に中古流通した分譲マンション

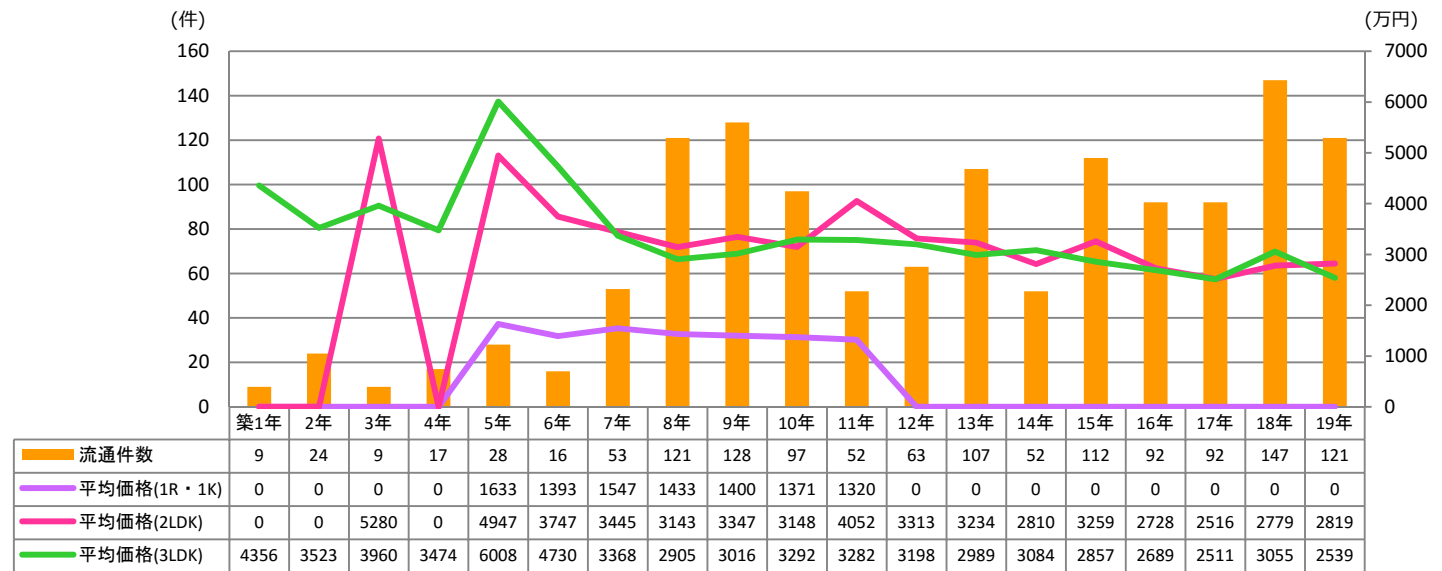
・築年数：流通時点で20年未満

・エリア：東京都(23区)、神奈川県(横浜市・川崎市)、埼玉県(さいたま市・川口市)、千葉県(千葉市・船橋市・市川市)

## 横浜市・川崎市



## さいたま市・川口市



## 千葉市・船橋市・市川市

